

国語表現

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	I群	
使用教科書	国語表現 改訂版（教育出版）			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
<p>「話す」「聞く」「書く」の国語表現の基礎を、スピーチやコラムなどの具体的な学習活動を通して学びます。また、表現のための基本となる事柄や語句、漢字の学習も行います。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に意見を述べたり、相手の立場や考えを尊重して話し合ったりできる。 ・目的や場面などに応じて適切に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・履修の条件は特にありません。 		
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容				
	4月	表現Ⅰ	文章表現の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・表記の仕方 ・語句の用法と文のくぎり方 ・文章のリフォーム — 推敲 ・わかりやすい説明の方法 ・挨拶と人間関係 ・待遇表現 — 敬語によるコミュニケーション ・励ます言葉・受け入れる言葉 ・漢字パズル ・川柳を作る ・俳句・短歌を作る ・詩を作る 				
	5月		人とつながる言葉					
	6月		言葉遊びと創作					
	7月	表現Ⅱ	言葉を届ける	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール ・電話とメモ ・手紙 				
	9月		エッセイを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイを読む ・エッセイを書く ・作品作りと相互批評 				
	10月		物語を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・二次創作を楽しむ ・絵から物語を作る ・テーマから物語を作る 				
	11月							
	12月	表現Ⅲ	メディア・リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの特性を知る ・広告というメディアを読む ・情報を編集する 				
	1月		社会にはたらきかける表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る — インタビュー ・地域と関わる — 企画を立てる ・地域とつながる表現活動 — イベントの実行へ 				
	2月							
	3月							
学習方法	<p>【予習】 教科書の該当ページを確認して、表現のために必要な情報を集めておきましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、いろいろな表現活動に挑戦し、上手に表現できるようにしましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、確認のための課題を出します。</p>							
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりの向上を図ろうとしている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			
	評価方法	第1・2学期		第3学期	年度末			
※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。	A：6割 B：4割		A：6割 B：4割		1・2・3学期の平均			
A：主に調査による観点別評価	Bは発表、作品、課題の取組状況、授業態度		Bは発表、作品、課題の取組状況、授業態度					
B：主に授業等の活動による観点別評価								
備考								

現代文A

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	H群		
使用教科書	現代文A (大修館書店) 改訂版			副教材等			履修	必履修・ 選択	
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路			
論理的な文章や文学的文章、その他さまざまな文章を読むことで、論理の展開や要旨・人物・情景・心情の捉え方を学びます。人間・社会・自然などについて考えたり、語句の意味・用法を学んだりします。			・近代以降の様々な文章を読むことによって、言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			・履修の条件は特にありません。 ・就職及び短大・専門学校進学希望者が対象です。			
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容					
	4月	小説を楽しむ	・ざしきわらし	・登場人物の心情や人物像をとらえる。 ・「ざしきわらしがいる」ということが象徴していることを読み取る。					
	5月	将来を考える	・「きっと叶いますよ」	・他者の経験から生まれた意見や感想を読み、自分の考えを創り出す。					
	6月			小説に親しむ	・山月記	・漢文脈の表現の響きやリズムを味わい、文体の魅力を知る。 ・登場人物の心情の移り変わりや情景描写に注意しながら、作品の主題を読み取る。			
	7月	ことばと文化	・排球、そして千利休	・外来語を輸入しつつ形成された日本語や文化に対する筆者の考えを読み取る。					
	9月			漱石・鷗外の世界	・こころ	・場面ごとの登場人物の心情とその変化、登場人物の人物像を読み取り、作品の主題を考える。 ・比喩表現など表現上の工夫を読み取り、その効果を考える。			
	10月								
	11月								
	12月	社会で生きる	・幸せの分量	・現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。					
	画	1月	漱石・鷗外の世界	・高瀬舟	・近代小説がもつ普遍性をとらえ、ある時代状況における人間の生き方・考え方や、それがどのように表現されているのかを考える。				
		2月							
	3月								
	学習方法	【予習】 それぞれの文章の語句の意味、漢字の書き方、読み方を確かめておきましょう。 【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。 【復習】 その日の学習内容について、板書したことを中心に、考えたり、漢字や語句を覚えたりしましょう。							
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解				
	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。				
評価基準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末			
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	A：8割 B：2割	A：8割 B：2割	1・2・3学期の平均					
備考									

現代文B

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	L群	
使用教科書	精選現代文B 新訂版 (大修館書店)			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
論理的な文章や文学的文章、その他さまざまな文章を読むことで、論理の展開や要旨・人物・情景・心情の捉え方を学びます。人間・社会・自然などについて考えたり、語句の意味・用法を理解し、表現することの大切さを学んだりします。			明治以降の優れた文章や作品を読み解き、鑑賞する能力を高める。そして、そこからものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現したり、読書したりするなど人生を豊かにする態度を身につける。			・文系の大学進学希望者、医療系専門学校進学希望者が対象です。		
学年 の 計 画	月	単元名	項	目	学 習 内 容			
	4月	評論（一）	広がる想像力		対話の精神			
	5月	小説（一）	名作を読む（一）		山月記			
	6月	評論（二）	社会をとらえる		豊かさをつながり			
		詩	ことばの力		竹 永訣の朝			
	9月	評論（三）	人間と科学		食べ物を「はかる」			
	10月	小説（二）	こころの交流		山椒魚 巨人の接待			
	11月	評論（四）	メディアと情報		「考える輩」であり続ける			
	12月	評論（五）	他者への視点		分かち合う社会			
	1月	小説（三）	名作を読む（二）		こころ			
	2月	評論（六）	グローバルとローカル		世界は、いま——「多文化世界」の構築			
	3月							
学習方法	【予習】 全文を通読し、語句の意味や漢字の書き方・読み方を確かめておきましょう。 【授業】 集中して授業に取り組み、内容理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。 【復習】 その日の学習内容のノートを見直し、要旨をまとめ、漢字や語句の意味を覚えましょう。							
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価方法	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に査査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	第1・2学期		第3学期		年度末		
		A：8割 B：2割	A：8割 B：2割		1・2・3学期の平均			
備考	Bは、授業態度、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等							
	Bは、冬季休業中の課題、授業態度							

現代文B

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	T①群	
使用教科書	精選現代文B 新訂版 (大修館書店)			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
論理的な文章や文学的な文章、その他さまざまな文章を読むことで、論理の展開や要旨・人物・情景・心情の捉え方を学びます。人間・社会・自然などについて考えたり、語句の意味・用法を理解し、表現することの大切さを学んだりします。			明治以降の優れた文章や作品を読み解し、鑑賞する能力を高める。そして、そこからものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現したり、読書したりするなど人生を豊かにする態度を身につける。			・文系の大学進学希望者が対象です。 ・2年次に「現代文B」を履修した生徒が、継続履修する場合のみ選択可能です。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容				
	4月	評論（一）	倫理と心理	こころは見える？				
	5月	小説（一）	虚構と象徴	美神				
	6月	評論（二）	文化と美	実体の美と状況の美				
	7月	随想	思いを伝える	昔の光				
	9月	小説（二）	こころに触れる	檸檬				
	10月	評論（四）	言語と世界	人を指す言葉——自称詞・対称詞・他称詞				
	11月	短歌・俳句	ことばを味わう	短歌 十三首 俳句 十五句				
	12月	評論（五）	生命と環境	生物多様性の恩恵				
	1月	評論（六）	時間と歴史	無常ということ				
	2月							
	3月							
	学習方法	<p>【予習】 全文を通読し、語句の意味や漢字の書き方・読み方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、内容理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容のノートを見直し、要旨をまとめ、漢字や語句の意味を覚えましょう。</p>						
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価標準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末		
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に査査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	A：8割 B：2割 Bは、授業態度、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等		A：8割 B：2割 Bは、冬季休業中の課題、授業態度		1・2・3学期の平均		
備考								

古典A

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	P②群	
使用教科書	古典A（三省堂）			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
日本の代表的な古典文学の読解と鑑賞を行います。物語には、四季の美しさ、人間の悲しみ、喜び、恋の悩みが鮮やかに豊かに描かれています。古典文学から日本文化の特質、日本人の心を学びます			<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の読み方や意味を正しく調べ、理解する。 ・ 文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考えることができる。 ・ 古典に親しみ、自己の人生観を高めることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 履修の条件は特にありません。 ・ 古典に興味のある人が履修してください。 		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4月	古文	イントロダクション		・ 蜂飼いの大臣——古事談			
	5月	漢文	イントロダクション		・ 塞翁が馬——淮南子			
	6月	古文	宇治拾遺物語		・ 百鬼夜行			
	7月				・ 呪いを知らせた犬			
	9月	漢文	論語		・ 孔子の人となり			
	10月	古文	今昔物語集		・ 絵師と大工			
	11月				・ 玄象の琵琶			
	12月	漢文	老子		・ 大道廢れて、仁義有り			
	1月	古文 漢文	今昔物語集 漢詩		・ 天下水より柔弱なるは莫し			
	2月				・ 姨母捨山			
	3月				・ 竹里館			
	学習方法	<p>【予習】 本文を音読し、意味のわからない語句は必ず調べておきましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、理解に努めましょう。古典を読むことで、我が国の文化と伝統に対する関心を深めましょう。</p> <p>【復習】 ノートの内容や新しく出てきた語句・文法事項などをしっかり覚えましょう。</p>						
評価の観点・評価基準・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。			
評価方法	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に考査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	第1・2学期		第3学期		年度末		
		A：8割 B：2割 Bは、授業態度、課題の取組状況、授業態度	A：8割 B：2割 Bは、授業態度、課題の取組状況、授業態度	1・2・3学期の平均				
備考								

古典B

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	G群	
使用教科書	精選古典B 新版(東京書籍)			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
<p>古典として優れた古文や漢文を、語句の意味や文法・句法に注意しながら口語訳し、内容を読み取ります。また、文章に表れた当時の人々の生活やものの見方、考え方を味わいます。</p>			<p>・古文や漢文に用いられている語句の意味、文法、句法を理解する。 ・文章の内容を的確に読み取る。 ・さまざまな文章を読んでものの見方感じ方、考え方を広げる。</p>			<p>・文系の大学進学希望者が対象です。 ・2年次に古文編Ⅰ・漢文編Ⅰを学習し、3年次R②群で古文編Ⅱ・漢文編Ⅱを学習します。</p>		
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容				
	4月	説話1	宇治拾遺物語	小野篁、広才のこと				
	5月	物語1	伊勢物語	すける物思ひ 渚の院				
		小話	小話	先従隗始 漱石枕流				
	6月	随筆1	枕草子	すさまじきもの 中納言参り給ひて				
	9月	詩1	近体詩	鹿柴 江南春 黄鶴楼 忠度の都落ち				
		軍記物語	平家物語					
		随筆2	方丈記 徒然草 玉勝間	安元の大火 花は盛りに 兼好法師が詞のあげつらひ				
	10月	史記1	項羽	四面楚歌				
	11月	日記1	更級日記	門出 物語				
		思想1	儒家と道家	仁人心也、義人路也 人之性悪				
		物語2	大鏡	道長、伊周の競射				
	12月		源氏物語	光源氏の誕生				
学習方法	<p>【予習】 本文をノートに書写し、語句の意味を調べ、口語訳しておきましょう。 【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。 【復習】 その日の学習内容について、板書したことを中心に確認しておきましょう。特に、語句の意味や文法については、確実に理解し覚えてください。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。</p>			<p>古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。</p>			
評価規準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末		
	<p>※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価</p>	A：8割 B：2割		A：8割 B：2割		1・2・3学期の平均		
備考								

古典B

総合学科

教科	国語	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	L群	
使用教科書	精選古典B 新版(東京書籍)		副教材等				履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
<p>古典として優れた古文や漢文を、語句の意味や文法・句法に注意しながら口語訳し、内容を読み取ります。また、文章に表れた当時の人々の生活やものの見方、考え方を味わいます。</p>			<p>・古文や漢文に用いられている語句の意味、文法、句法を理解する。 ・文章の内容を的確に読み取る。 ・さまざまな文章を読んでものの見方感じ方、考え方を広げる。</p>			<p>・国公立大学理系進学希望者が対象です。</p>		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容				
	4月	説話1	宇治拾遺物語	小野篁、広才のこと				
	5月	物語1	伊勢物語	すける物思ひ 渚の院				
		小話	小話	先従隗始 漱石枕流				
	6月	随筆1	枕草子	すさまじきもの 中納言参り給ひて				
	9月	詩1	近体詩	鹿柴 江南春 黄鶴楼 忠度の都落ち				
		軍記物語	平家物語					
		随筆2	方丈記 徒然草 玉勝間	安元の大火 花は盛りに 兼好法師が詞のあげつらひ				
	12月	史記1	項羽	四面楚歌				
	1月	日記1	更級日記	門出 物語				
		思想1	儒家と道家	仁人心也、義人路也 人之性悪				
		2月	物語2	大鏡	道長、伊周の競射			
			源氏物語	光源氏の誕生				
3月								
学習方法	<p>【予習】 本文をノートに書写し、語句の意味を調べ、口語訳しておきましょう。 【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。 【復習】 その日の学習内容について、板書したことを中心に確認しておきましょう。特に、語句の意味や文法については、確実に理解し覚えてください。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。</p>			<p>古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。</p>			
評価規準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末		
	<p>※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価</p>	A：8割 B：2割		A：8割 B：2割		1・2・3学期の平均		
備考								

古典B

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	R②群	
使用教科書	精選古典B 新版（東京書籍）			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
<p>古典として優れた古文や漢文を、語句の意味や文法・句法に注意しながら口語訳し、内容を読み取ります。また、文章に表れた当時の人々の生活やものの見方、考え方を味わいます。</p>			<p>・古文や漢文に用いられている語句の意味、文法、句法を理解する。 ・文章の内容を的確に読み取る。 ・さまざまな文章を読んでものの見方感じ方、考え方を広げる。</p>			<p>・2年次に「古典B」を履修した生徒が、継続履修する場合のみ選択可能です。</p>		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4月	日記2	十六夜日記		駿河路			
	5月	史話	三国志の世界		出師表			
		物語3	源氏物語		車争ひ			
	6月	詩3	李白と杜甫		須磨の秋			
	7月				月下独酌 石壕吏			
	9月	評論2	無名草子 源氏物語玉の小櫛		清少納言 紫式部 もののあはれ論			
	10月	小説2	小説一二編		桃花源記			
	11月	俳諧	芭蕉		富士川			
	12月	思想2	諸子百家		吉野の花 侵官之害			
	1月	近世の文章2	雨月物語		浅茅が宿			
		2月						
		3月						
学習方法	<p>【予習】 本文をノートに書写し、語句の意味を調べ、口語訳しておきましょう。 【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。 【復習】 その日の学習内容について、板書したことを中心に確認しておきましょう。特に、語句の意味や文法については、確実に理解し覚えてください。</p>							
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力		書く能力		読む能力		知識・理解
	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。</p>					<p>古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>		<p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。</p>
評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末		
	<p>※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価</p>	A：8割 B：2割 Bは小テスト・ノートの整理状況・提出物、課題の取組状況、授業態度		A：8割 B：2割 Bは小テスト・ノートの整理状況・提出物、課題の取組状況、授業態度		1・2・3学期の平均		
備考								

現代語

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	P②・S②群	
使用教科書	日本語練習帳（岩波新書）			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
日本語の正しい使い方、日本人独特の言い回しなどを学ぶことで日本語の特性を理解し、場面や目的に応じた表現の仕方を練習します。また、進路に対応した漢字や語句の学習を行います。			<ul style="list-style-type: none"> 日本語の特性を理解することで、日本語や日本人についての思いを深めることができる。 目的や場面などに応じて適切に表現できる。 			履修の条件は特にありません。		
学年 の 年 間 計 画	月	単元名	項目	学 習 内 容				
	4月	1 単語に敏感になろう	・単語の形と意味の違い	<ul style="list-style-type: none"> 意味の違い目を見る 物をとらえる角度によって単語が変わる 言葉についての敏感さ 漢語は二つの意味の組み合わせが基本 漢字の一字一字を見る 似た単語の違っている部分に目を向ける 漢字と日本文化 ・カタカナ語の増大 人称代名詞 				
	5月		・漢字・漢語をめぐる問題					
	6月	2 敬語の基本	・自分と相手との位置関係	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧語・尊敬語・謙譲語 				
	7月		・敬語の種類					
	9月	3 文法なんか嫌い	・ハの働き	<ul style="list-style-type: none"> 問題を設定して下にその答えが来ると予約する 対比 限度 名詞と名詞をくっつける 現象文を作る 文章を縮約する 文章の弱点が見えてくる 段落ごとの要旨をとる 筆をとる前に センテンスの長い文章 文体として長いセンテンス 				
	10月		・ガの働き					
	11月	4 文章の骨格	・文章の実習	<ul style="list-style-type: none"> 文章の弱点が見えてくる 段落ごとの要旨をとる 筆をとる前に センテンスの長い文章 文体として長いセンテンス 				
	12月		・文章の骨格を確かにする					
	1月	5 二つの心得	・文章を書く上での心得	<ul style="list-style-type: none"> 「のである」「のだ」を消せ 「が、」を使うな 				
	2月							
	3月							
	学習方法	<p>【予習】 教科書の該当ページを確認して、よく読んでおきましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、理解に努めましょう。課題には意欲的に取り組みましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、ノートや教科書を見直し、漢字や語句を覚えたり使ったりしてみましょう。</p>						
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末			
	A：8割 B：2割		A：8割 B：2割		1・2・3学期の平均			
評価方法	Bは、授業態度、課題の取組状況、長期休業中の課題等		Bは、授業態度、課題の取組状況、冬季休業中の課題等					
備考								

国語探究

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	T②群	
使用教科書	ちくま評論入門 改訂版 (筑摩書房)			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
現代の評論を読み、論理的な思考力を身に付けます。また、読解問題に取り組むことで読みを深めます。			<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな評論を読み、ものの見方、考え方を広げる。 ・全体の構成をつかみ、入試に対応できる力を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者、医療系専門学校進学希望者が対象です 		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容				
	4月	第一部	評論への招待	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係 ・対比 ・具体と抽象 				
	5月	第二部 第一章	〈私〉のなかの〈世界〉	<ul style="list-style-type: none"> ・レトリックー比喻の力 ・真実はひとつじゃない(森達也) 				
	6月			<ul style="list-style-type: none"> ・隠れたカリキュラム(苅谷剛彦) 				
	7月	第二章	芸術表現の冒険	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服という社会(北山晴一) 				
		第三章	科学というスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ふたつの誤り(福岡伸一) 				
	9月	第四章	変わる都市・変わる人間	<ul style="list-style-type: none"> ・視線のカスケード(下條信輔) ・箱の増殖(三浦展) ・東京タワー(中沢新一) 				
	10月	第五章	言葉、この人間的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・国境を超えることば(多和田葉子) 				
	11月	第六章	〈世界〉のなかの〈私〉	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながり」と「ぬくもり」(鷲田清一) 				
	12月			<ul style="list-style-type: none"> ・イノセンス(芹沢俊介) 				
	1月	第七章	国家権力と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・超国家アメリカ(藤原帰一) 				
	2月	第八章	伝統と創造力	<ul style="list-style-type: none"> ・松に聞け 現代文明へのレクイエム(藤田省三) 				
	3月							
学習方法	<p>【予習】 全文を通読し、語句の意味や漢字の書き方・読み方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、内容理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容のノートを見直し、要旨をまとめ、漢字や語句の意味を覚えましょう。</p>							
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価標準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末		
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に査査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	A：8割 B：2割	A：8割 B：2割	1・2・3学期の平均				
備考	Bは、授業態度、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等							

小論文基礎

総合学科

教科	国語	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	U群	
使用教科書	小論文 ジャンル別キーワード 解説 改訂版			副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
毎回何らかのテーマに沿って、どんどん小論文を書いていきます。時には各自で調べ学習をしたり、講座内で討論をしたりして、論理的な思考力・表現力を身に付けます。			・小論文の基本的な書き方を身に付ける。 ・多角的なものの方や論理的な思考力・表現力を養う。 ・入試に対応できる力を身に付ける。			・上級学校への入学試験で小論文が必要な生徒が対象です。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4月	小論文の書き方Ⅰ	1	国際	・グローバル化 ・人権の尊重と民主化運動 ・食糧問題 ・政治参加の新たな流れ ・地方自治と地方分権 ・企業倫理 ・地球温暖化 ・持続可能な開発（発展） ・生物多様性 ・再生可能エネルギー ・バイオテクノロジー ・宇宙開発			
	5月		2	政治・経済				
	6月		3	環境				
	7月		4	科学・技術				
	9月	小論文の書き方Ⅱ	5	情報・通信	・インターネット ・ソーシャルメディア ・情報リテラシー ・個人情報の保護 ・学力低下 ・キャリア教育 ・情報教育 ・再生医療 ・生活習慣病 ・終末期医療 ・超高齢化社会 ・介護をめぐる問題			
	10月		6	教育				
	11月		7	医療・健康				
	12月		8	福祉				
	1月	小論文の書き方Ⅲ	9	社会	・少子化 ・格差社会 ・ボランティア活動			
	2月							
	3月							
	学習方法	【予習】 新聞やニュースやインターネットで、事前に情報を入手しておきましょう。 【授業】 講座内で討論しながら、とにかく書きましょう。 【復習】 添削されたところを直して、もう一度同じテーマで書きましょう。						
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価規準・評価方法	評価方法 ※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に考查による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	第1・2学期		第3学期		年度末		
		A：5割 B：5割	A：5割 B：5割	A：5割 B：5割	1・2・3学期の平均			
備考	Bは、授業態度、課題の取組状況、長期休業中の課題等							

国語研究

総合学科

教科	国語	単位数	4単位	対象	3年次	選択群	N群			
使用教科書	ちくま小説入門 (筑摩書房)			副教材等		論読 現代文	履修	必履修・ 選択		
授業の概要				学習の到達目標			履修の条件・進路			
さまざまな作家の小説を中心に、論理的な文章を加えた多様な文章を読み、文章読解の基本を学びます。また、その知識や読解力を総合的に活用できる力へと高め、学習を深めます。				<ul style="list-style-type: none"> 小説を読むうえで押さえておくべき基礎的な知識を理解する。 論理的な文章理解を深める。 文章の内容を的確に読み取る。 それぞれの書き手の魅力を味わう。 			短期大学または専門学校への進学希望者、及び就職希望者が対象です。			
学年間の計画	月	単元名	項目	学 習 内 容						
	4月	第一部	・小説への招待	<ul style="list-style-type: none"> 小説の仕組み 小説の表現 小説の豊かさ・可能性 小説の読解 ポッコちゃん (星新一) 						
	5月	第二部	・第一章 出会いの物語	<ul style="list-style-type: none"> ふたり (角田光代) 						
	6月		・第二章 秘められたもの	<ul style="list-style-type: none"> 子供の領分 (吉行淳之介) 						
	7月	第三部	・第三章 向こう側の世界	<ul style="list-style-type: none"> 銀の匙 (中勘助) 木になった魚 (竹西寛子) 						
	9月		・第四章 語りの力	<ul style="list-style-type: none"> ひよこトラック (小川洋子) 						
	10月			・第五章 私らしさを探して	<ul style="list-style-type: none"> 蠅 (横光利一) 					
	11月				<ul style="list-style-type: none"> 四月のある晴れた朝に 100パーセントの女の子に出会うことについて (村上春樹) 					
	12月	第四部								
	1月									
	2月									
	3月									
学習方法	<p>【予習】 それぞれの文章の語句の意味、漢字の書き方、読み方を確かめておきましょう。</p> <p>【授業】 集中して授業に取り組み、理解に努めましょう。理解できない内容は早めに質問しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、ノートに書いたことを中心に考えたり、漢字や語句を覚えたりしましょう。</p>									
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解					
	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。					
評価基準・評価方法	評価方法	第1・2学期		第3学期		年度末				
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価	A：8割 B：2割	A：8割 B：2割	1・2・3学期の平均						
備考										